



元気いっぱい、笑顔いっぱい、活力みなぎる 朝二の子

朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL 048-461-0042 FAX 048-467-4735

E-mail 2shou@asaka-c.ed.jp ホームページ <http://www.asakadai2shou.city-asaka.ed.jp>

令和3年3月1日(3月号) 児童数 701名 (2/25現在)

『未来を生きる力』を育む

-ICT機器の効果的な活用をとおして-

校長 谷井 喜信

正門脇の白梅の開花から少し遅れ、しだれ梅(紅梅)がその可憐な花を咲かせました。桜のつぼみも春の陽光を受けて日増しに膨らんできています。いよいよ3月、令和2年度の締めくくりとなる月を迎えました。子供達は学年のまとめに一生懸命取り組んでいます。それぞれが一年間を振り返る中で、自他の成長を実感し、自信と希望を抱いて進学・進級してくれたらと願っております。

突然の臨時休校から一年。集団生活を営む学校において、コロナ感染拡大防止に努め、児童の安全安心を最優先に進めてきました。常に、児童を中心に据えた教育活動を、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を得ながら、チーム二小一丸となって取り組んでまいりました。深く感謝しております。ワクチンの先行摂取が始まり、社会全体がいくらか明るくなってきたように感じますが、気を緩めることなく「感染しない、させない」ために意識を高く持って過ごしてまいりましょう。

さて、今年度本校では、国語科の校内研修と併せICT活用についても研究を進めてきました。先日、今年度のまとめとして、ICT実践報告会を行いました。取組のいくつかをご紹介します。



【チューリップの観察】

左の写真は、1年生がiPadを使ってチューリップの観察を行っている場面です。昨年6月にも、国語科「おおきく なった」の学習で朝顔を観察しました。iPadを活用したことで、①iPadの操作に親しみながら観察の観点を押さえて学習することができた。②iPadを使うことで、遠くから近くのものへと観察の対象を焦点化することができ、観察の書き方が充実した。③どの写真が観察するときに分かりやすいか、写真を選ぶ際に意見交換することで、観察をする視点がさらに明確になった。観察の記録も文章で書く内容が豊かになった。このような成果が確かめられました。



【プログラミング学習】

もう一枚の写真は、5年生がプログラミングロボットに挑戦している場面です。今年度から、プログラミング教育が小学校で必修化されました。小学校のプログラミング教育は、「プログラミングを体験し、プログラミング的思考(ある目的を達成するために順序立てて論理的に考え結果を出していく力)を育む」という目的に沿って学習が進められています。まず、ロボットにセンサーやモーター等を取り付けます。次はいよいよプログラミングです。動くロボットを観察しながら意図した動きを考えて、タブレットを使ってプログラミングします。初めての体験でしたが、すぐに扱い方に慣れて、楽しそうに活動する様子が見られました。

「いつでも、誰でも、どこでも、瞬時に」多様な情報を得たり、情報を発信したりできる時代を生きる児童には、情報を適切かつ効果的に、そして主体的に選択し活用する力が求められています。現在朝霞市では、国のGIGAスクール構想を受けて、市内小・中学校におけるコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段及びこれらを日常的・効果的に活用するために必要な環境整備を進めています。次年度からは、一人一台端末と高速通信により児童の学習が一層充実していくものと期待できます。今年度本校で取り組んできた研究の成果を次年度に繋げ、児童一人一人に「未来を生きる力」を育んでまいります。二小児童のために、今後ともお力添えを賜りますようお願いいたします。



【避難訓練(火災)】



【6年 セレクト給食】



【3年クラブ見学:写真クラブ・音楽クラブ】

